

科目名	日本語表現法 (Japanese Language Expression)			科目コード	117
開講学科	看護学科・臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1 年次前期	関連DP	看①③⑤、臨①②⑤
担当教員	西村 浩子*、河野 久美子*				
授業概要	話すことや書くことを中心に、グループ学習などを取り入れ、実践的に日本語表現の練習を行う。				
授業目標	1. 自分の考えをわかりやすく論理的に表現することができる。 2. 相手の立場や状況を考えて、相手に配慮した日本語表現ができる。 3. 日本語を話すことや書くことを通して、日本語を見直し、意識することができる。				

授業計画

回	項目	内容
1	授業の進め方について	授業の進め方について説明する
2	正しい日本語の発音	わかりやすい話し方をするための、発声と発音法を学ぶ
3	メールの作法	メールで目上の人に連絡・報告する書き方を学ぶ
4	説明する・発表する①	相手の立場に立った話し方を考える①
5	説明する・発表する②	相手の立場に立った話し方を考える②
6	レポートを書く①	レポートを書く時の注意点を学ぶ①
7	レポートを書く②	レポートを書く時の注意点を学ぶ②
8	敬語を使う	尊敬語や謙譲語、またコミュニケーションを円滑にする言葉について考える
9	手紙の作法①	季節や目的に応じた手紙の書き方を知り、手紙の中の敬語の使い方を考える。実際に手紙を書く
10	手紙の作法②	季節や目的に応じた手紙の書き方を知り、手紙の中の敬語の使い方を考える。実際に手紙を書く
11	電話をする	電話のマナーと話し方を考える
12	メモの取り方	自分のメモの取り方を見直し、メモの内容を相手にわかりやすく伝える方法を考える
13	日本語表現を考える①	本の紹介を通して人に気持ちを伝える表現を考える①
14	日本語表現を考える②	本の紹介を通して人に気持ちを伝える表現を考える② (ビブリオバトル)
15	授業の振り返りと要点整理	これまでの学びのポイントを振り返り、日本語表現の要点を整理する
成績評価方法		筆記試験 60% 平常活動 (提出物・授業に取り組む態度等) 40%で評価する。
教科書		野呂幾久子ほか「看護系学生のための日本語表現トレーニング」 (三省堂)
参考図書等		授業中に指示する。
授業時間外の学習について		事後には課題の作成を行い、授業にそなえる。
関連科目		129 コミュニケーション論
備考		毎回、新聞記事や好きな本について、3 分間トークを行ったり、漢字テストを行ったりする。